

7:35左岸から新しく崩壊が生じた小沢が合流する。このあとはブッシュがかぶさるようになり、沢も小さく枝分かれてゆく。隠居倉に直接突き上げる小沢をたどり、8:00遡行終了。最後の岩場は右から捲いて、あとはヤブこぎ。隠居倉のピークはすぐ近くだと思ったのだが、ハイマツに行く手を阻まれ、大変なヤブこぎとなってしまった。8:30隠居倉のピークに立つ。

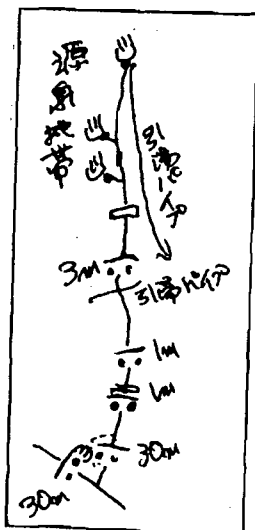
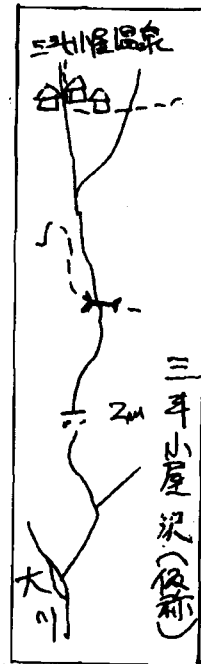
〔タイム〕 三斗小屋宿(5:30)→中ノ沢出合(6:10)→赤岩沢出合(6:25)→沢終了(8:00)→隠居倉(8:30)

### 三斗小屋沢(仮称)

1991年8月17日

三斗小屋温泉から下降開始。この沢は全くの平凡。小さなナメと2mの小滝があっただけで、湯川本流に出てしまった。三斗小屋温泉から登山道まで40分。そこから湯川本流まで50分。正味90分の短い下降であった。

〔タイム〕 三斗小屋温泉(9:15)→登山道(9:55)→湯川(10:50)→三斗小屋宿(11:10)



### 御沢右俣

1991年6月8日

5:40遡行開始。45分で、御沢出合。昨日の疲れが目立つメンバーがいて、ゆっくりペースである。7:20今日の目標の右俣出合。出合には、なんとなくなまあったかい風が吹いてきていたが、あとから考えると、温泉の影響であった。

出合の30mの落差をもつ滝は、右岸から捲く。水量が少なければ、直登できそうに思えたが、無理をしないことにした。急斜面を樹木を頼りに登って滝の上に出る。